

アメリカ発



# 最新歯科医療レポート

Vol.09 リポーター:和田圭祐



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得。米国ハーバード大学大学院で08年6月、歯学博士号取得。米国歯周病専門医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラントの臨床研究を行っている。2ヶ月に一度帰国し、本院にて治療に携わっております。

米国の歯周病専門クリニックでは歯茎がやせてしまつて歯が伸びて見えるケースをよく見かけます。これは強い力で歯ブラシをすることで歯茎を傷つけてしまうことが主な原因といわれていますが、実際は歯周病やかみ合わせなど様々な原因が組み合わさって起こるとされています。このように歯茎が必要以上にやせてしまうと知覚過敏をおこします。そしてその部位に歯ブラシが当たると痛いので十分な清掃ができなくなり、結果的に歯周病や虫歯の原因になってしまいます。また歯が極端に長く見えるという審美的な悩みとしてとらえておられる方も少なくありません。

## 歯肉移植術

このような場合、やせてしまった歯茎をよみがえらせる方法に歯肉移



歯周形成外科

## 人工真皮移植材をつかった歯肉再生手術

植術という方法があります。これは自分の歯茎の一部を上あごの裏側から採取してやせた部分に移植するという方法です。しかしこれは病気とは関係ない部分にメスを入れてしまうという欠点があります(写真1)。

年も前から歯科領域のみならず美容外科領域でも盛んに使われている安性が確立された人工移植材です。この材料を歯茎のやせた部分(写真3)に置いてやることで、丈夫で健康な歯茎を再生することができま(写真4)。その結果、知覚過敏や歯周病の症状ならびに見た目(審

に使われるようになってきています。

## 機能的・審美的に満足

この人工移植材(写真2)はヒトの皮膚から細胞を除いた真皮を材料につくられたもので日本では未認可の材料です。しかしアメリカでは何

美性)大きく改善することができま(写真4)。その結果、知覚過敏や歯周病の症状ならびに見た目(審



写真1=上顎から採取された移植用の歯肉の模式図 [http://implant-society.com/terms/wa\\_eisu/connective\\_tissue\\_graft/](http://implant-society.com/terms/wa_eisu/connective_tissue_graft/) より抜粋



写真2=ヒトの皮膚から細胞成分を除去して作られた人工皮膚移植材



写真3=歯肉がやせた下あごの前歯



写真4=人工皮膚移植材を移植し、やせた歯肉が再生している。



新市・和田歯科医院

— M&K インプラントオフィス福山 —

院長 和田 勝 / アメリカ歯周病専門医 和田 圭祐  
アメリカ歯周病学会認定医  
福山市新市町新市726-1 (ムシバゼロ)

Tel. 0847-52-6480

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>